

2016年卒・新卒採用選考/ インターンシップ動向に関する企業調査

<主要データ抜粋>

2015年5月

株式会社ディスコ キャリアリサーチ

DISCO



調査概要

<調査趣旨>

2016年3月卒者の採用からスケジュールが大幅に繰り下がりました。3月の採用広報開始から約2カ月が経ちますが、「売り手市場」の混乱と相まって、実態の見えづらいつ況が続いています。

そこで株式会社ディスコでは、全国の主要企業を対象に、新卒者に対する採用計画や選考状況、インターンシップ等について、緊急調査を実施しました。

※調査データの中から主要なものを抜粋して掲載します。

<調査概要>

- 調査対象 : 全国の主要企業 7,534社
- 調査時期 : 2015年4月27日～5月8日
- 調査方法 : インターネット調査法
- 回答社数 : 2016年3月卒業予定者の採用を予定している企業 488社

<<従業員数>>

300人未満	300～999人	1000人以上
196社	162社	130社

<<業界>>

メーカー	商社・流通	金融	IT、情報処理	サービス、その他
164社	117社	27社	61社	119社

<<株式>>

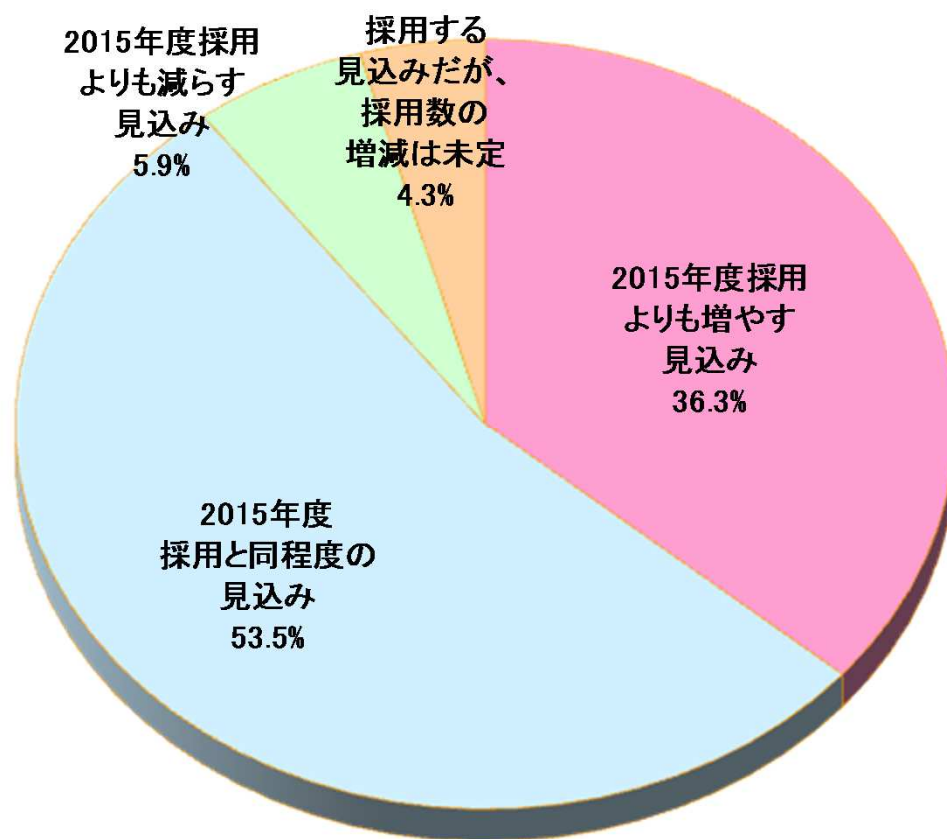
上場	非上場
112社	376社

<<ビジネスモデル>>

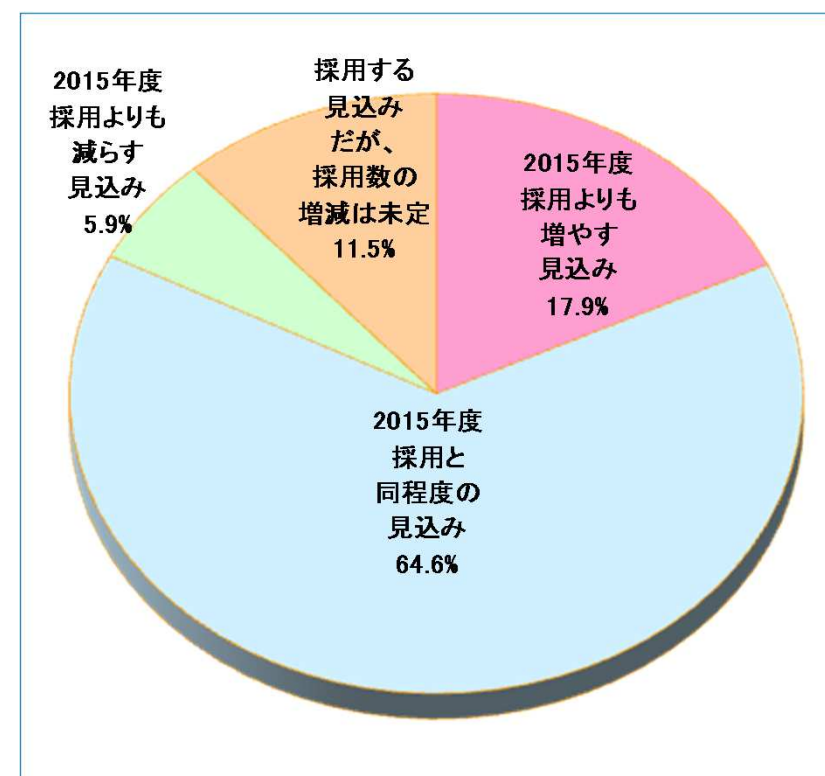
B to B	B to C
325社	163社

【2016年卒採用】 採用見込み

- 2015年度採用よりも「増やす」36.3%、「減らす」5.9%で、採用数を増やす企業が大きく増加する見込み。
- 昨年11月下旬調査時と比較すると、「増やす」が17.9%→36.3%に倍増しており、この数カ月間で計画を見直した企業も少なくないと見られる。



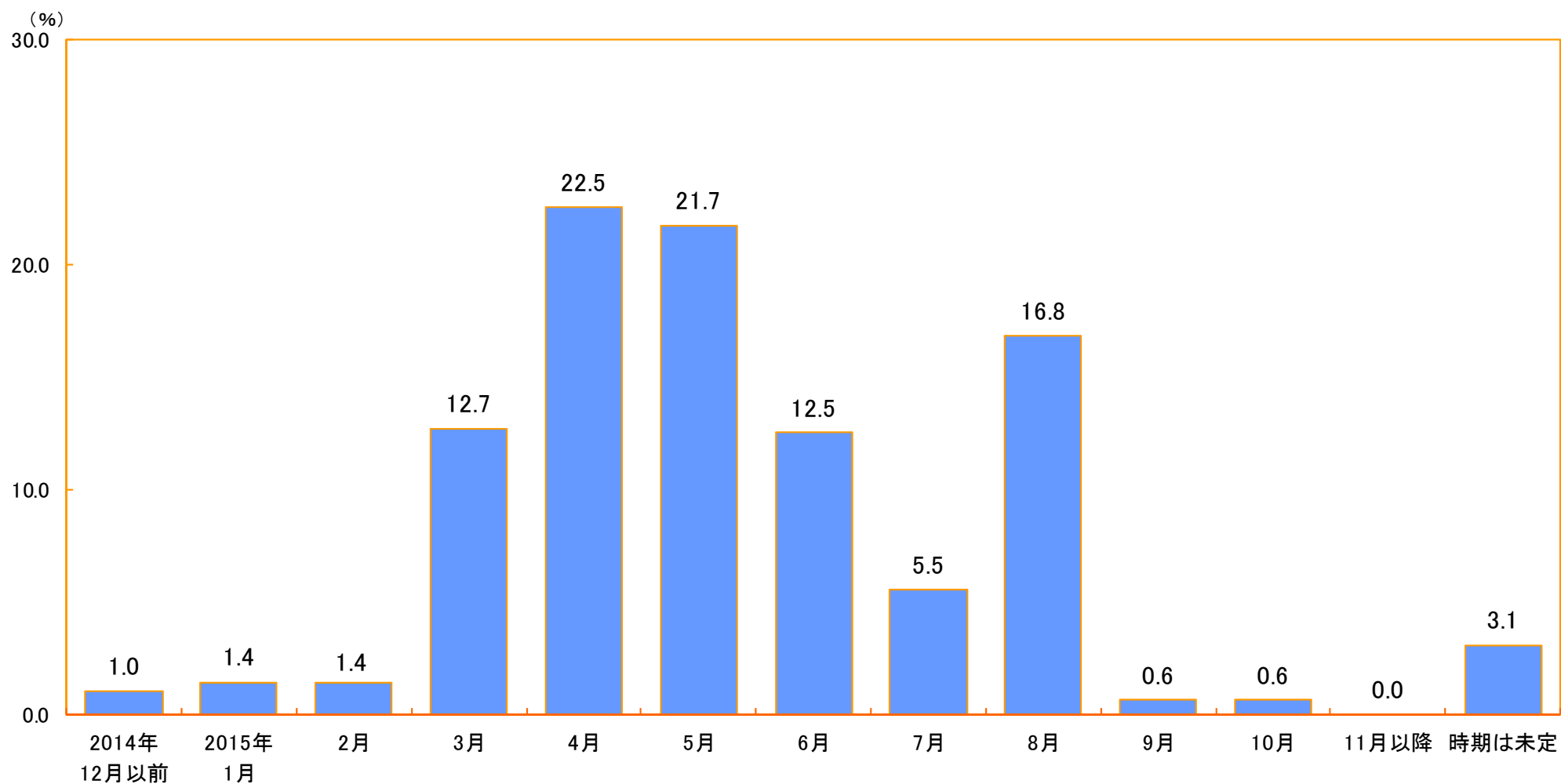
【参考:2014年11月調査】



Q. 「2016年3月卒業予定者」の採用見込みをご回答ください。

【2016年卒採用】「面接試験」の開始時期（予定含む）

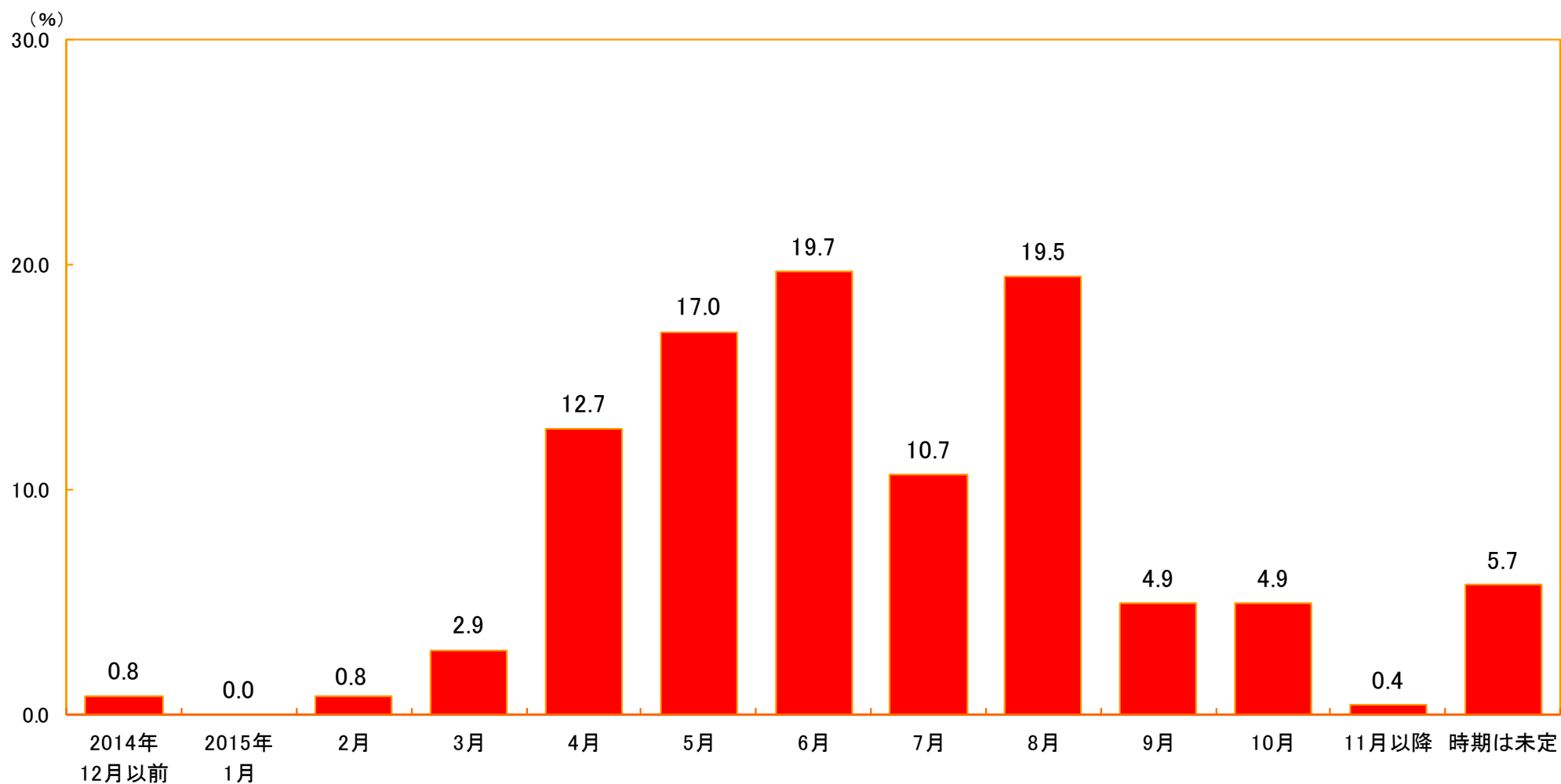
- 選考解禁の「8月」と回答した企業は16.8%にとどまり、前年度までの解禁時期だった「4月」が22.5%で最多。「5月」が21.7%で次点。



Q. 「面接試験」の開始時期について、あてはまるものをお選びください。

【2016年卒採用】「内定出し」の開始時期（予定含む）

- 「6月」と回答した企業が19.7%で最多。「8月」が僅差(19.5%)で次点。
- 「7月」までの合計は、64.5%。

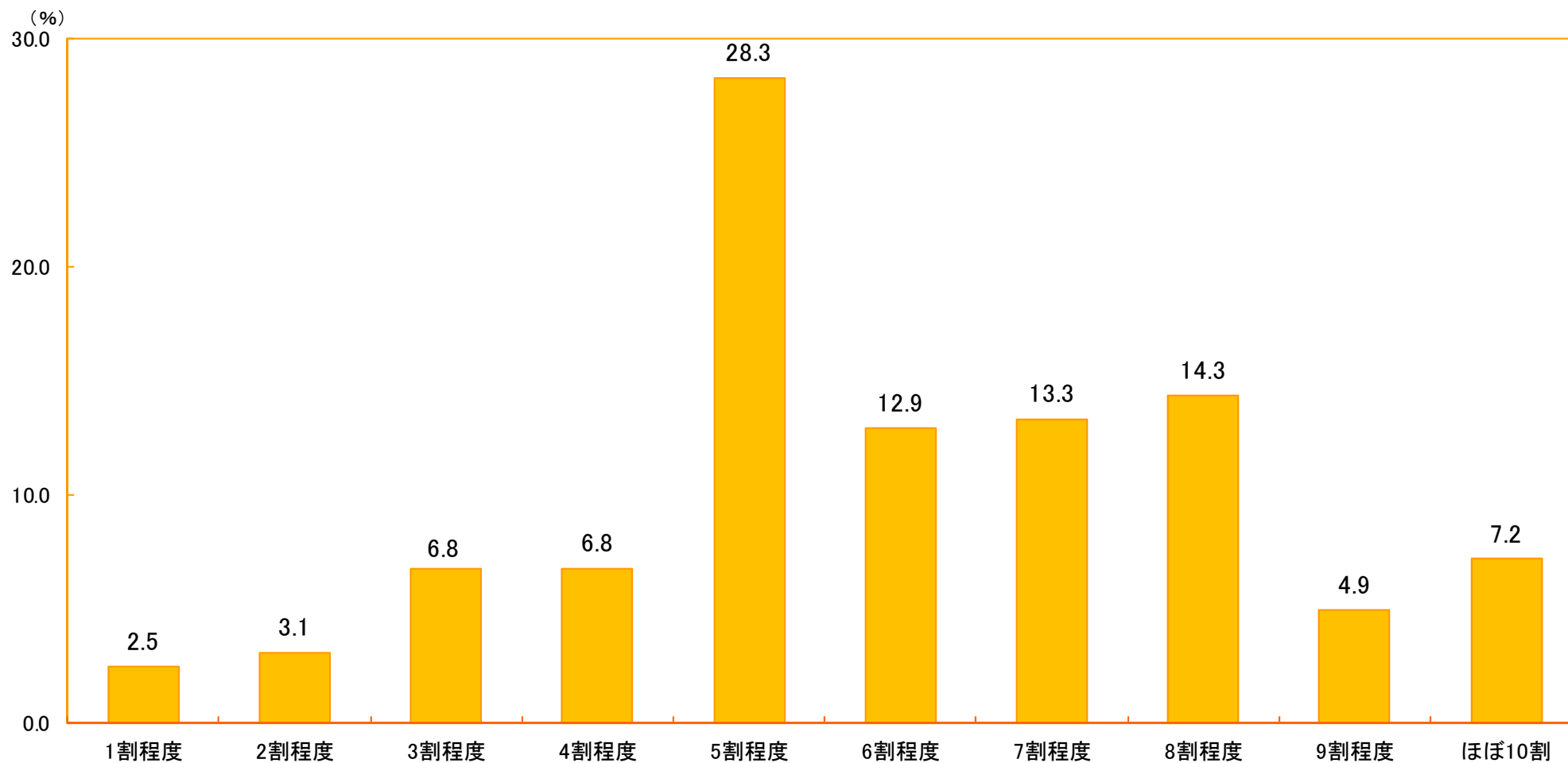


Q. 「内定出し」の開始時期について、あてはまるものをお選びください。

【2016年卒採用】 内定者歩留まり率の想定

- 自社の内定者歩留まり率は「5割程度」と想定している企業が最も多く、28.3%。「ほぼ10割」は7.2%。

* 内定者歩留まり率 = 内定を出した学生のうち実際に入社する割合

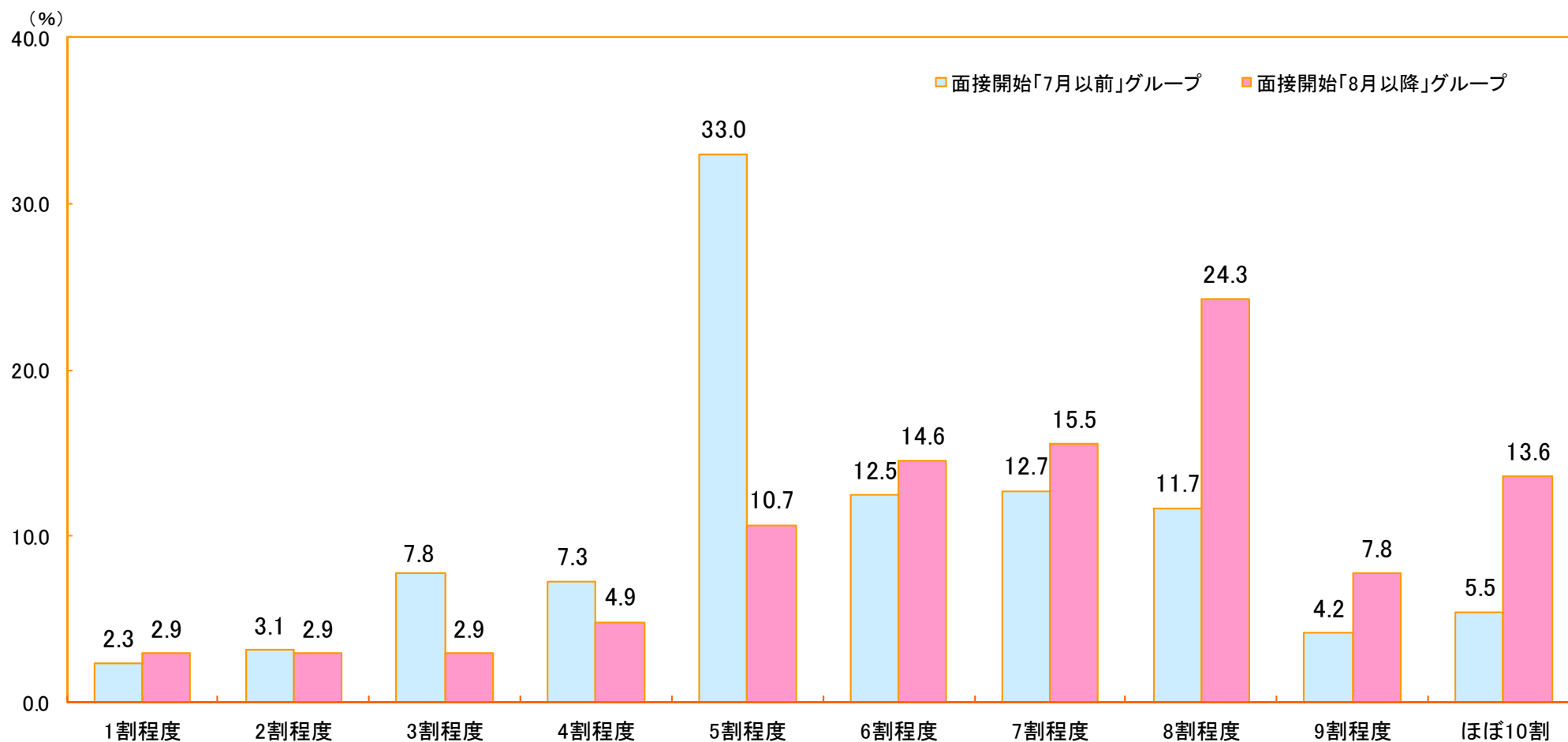


Q. 貴社の「2016年卒」の内定者歩留まり率はこの程度を見込んでいますか。

【2016年卒採用】 内定者歩留まり率の想定（面接開始時期別）

- 7月以前に面接を開始する企業群では、「5割程度」を想定する企業が最多であるのに対し(33.0%)、8月以降に面接を開始する企業群では「8割程度」が最多で(24.3%)、相対的に高く想定。

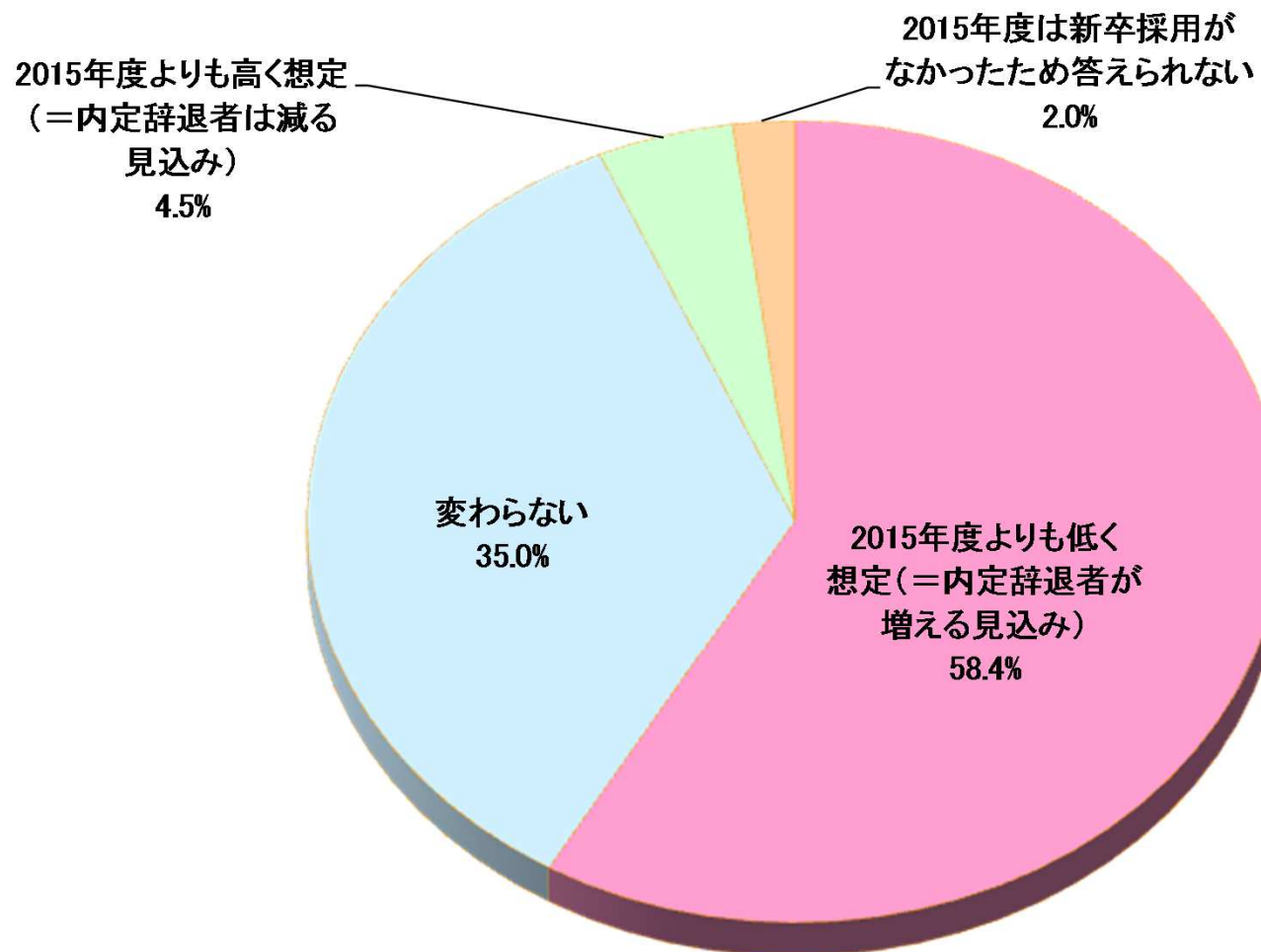
* 内定者歩留まり率 = 内定を出した学生のうち実際に入社する割合



Q. 貴社の「2016年卒」の内定者歩留まり率はどの程度を見込んでいますか。

【2016年卒採用】 内定者歩留まり率の「2015年卒」との比較

- 内定者歩留まり率を「2015年卒者採用」よりも低く想定している企業が58.4%と過半数。高く想定している企業は4.5%と少数。

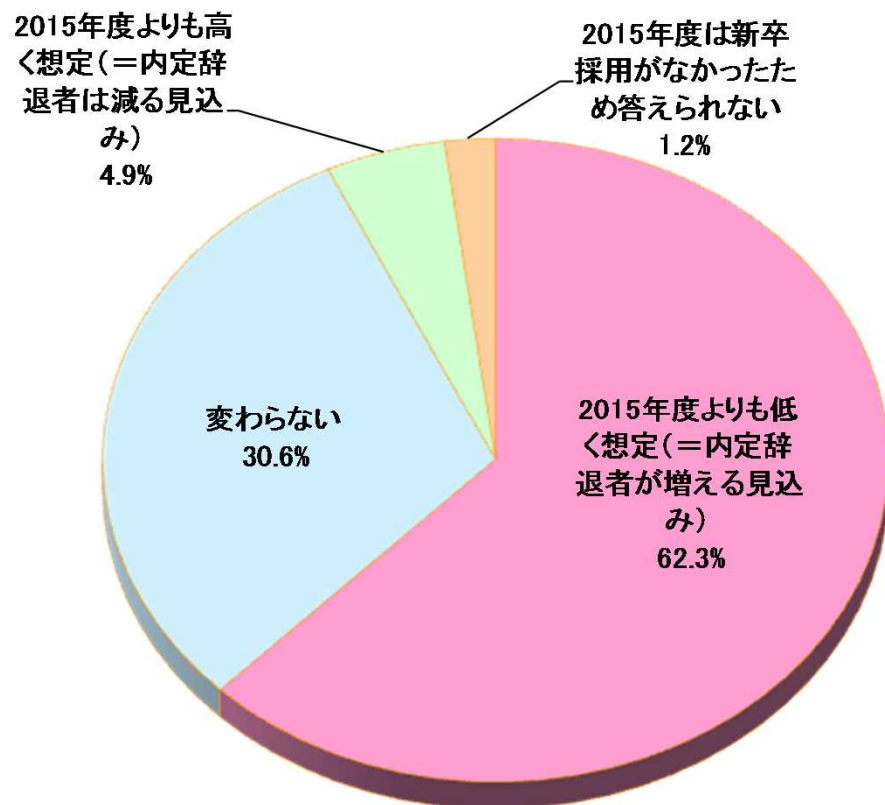


Q. 前問で回答された歩留り率は、「2015年卒」の内定者歩留まり率と比べてどうですか。

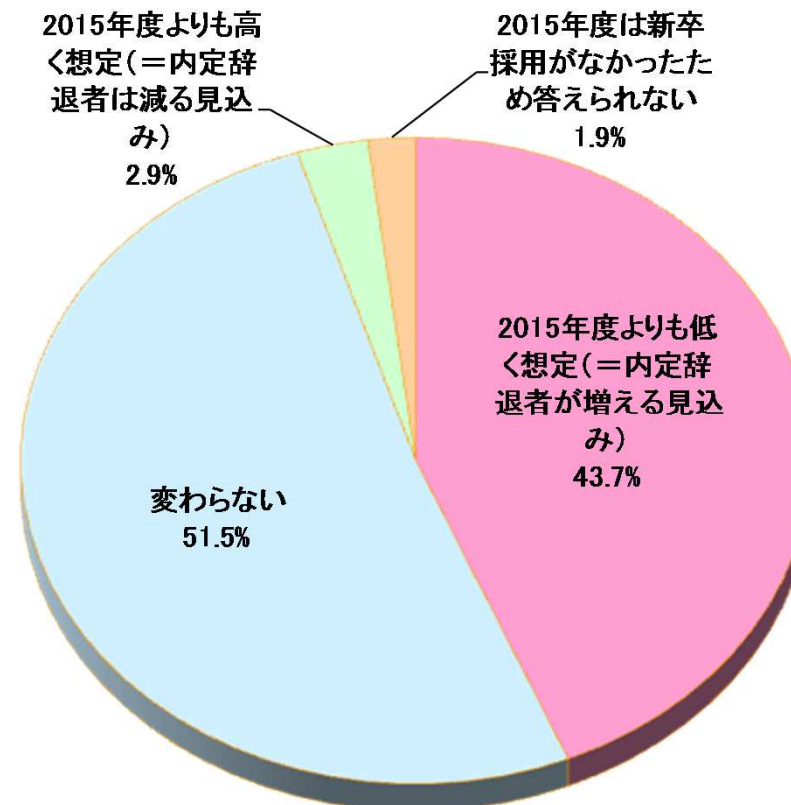
【2016年卒採用】 内定者歩留まり率の「2015年卒」との比較（面接開始時期別）

- 7月以前に面接を開始する企業群では、「2015年卒者採用」よりも低く想定している企業が62.3%と6割強。
8月以降に面接を開始する企業群では43.7%と4割台。

【面接開始「7月以前」グループ】



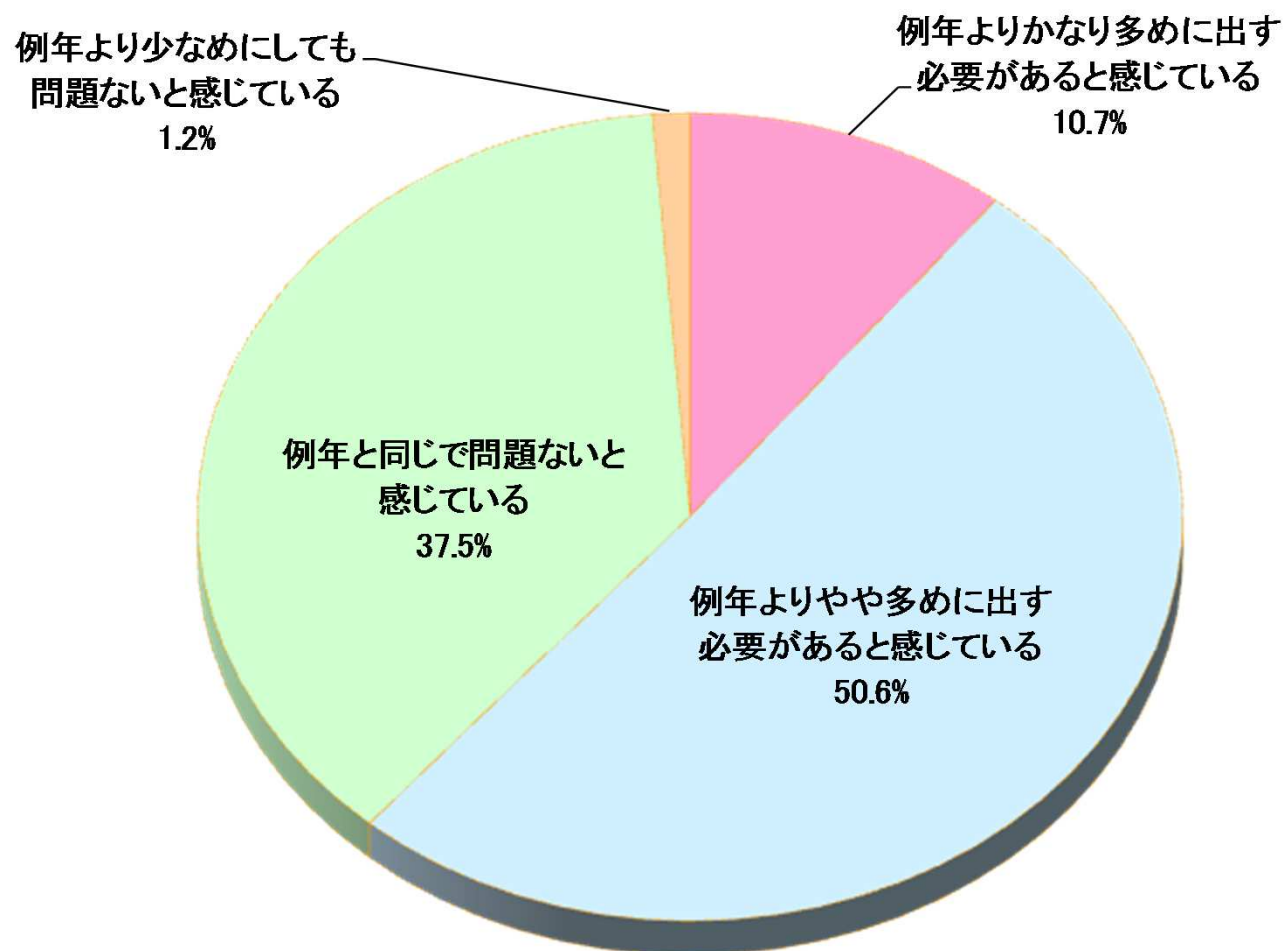
【面接開始「8月以降」グループ】



Q. 前問で回答された歩留り率は、「2015年卒」の内定者歩留まり率と比べてどうですか。

【2016年卒採用】 内定出しの人数への考え（歩留まり率を考慮した上で）

- 内定出しの人数（計画人数に対する内定数）を、歩留まり率を考慮して増やすという企業は61.3%。
- 「例年よりかなり多めに出す必要がある」10.6%、「例年よりやや多めに出す必要がある」50.6%。

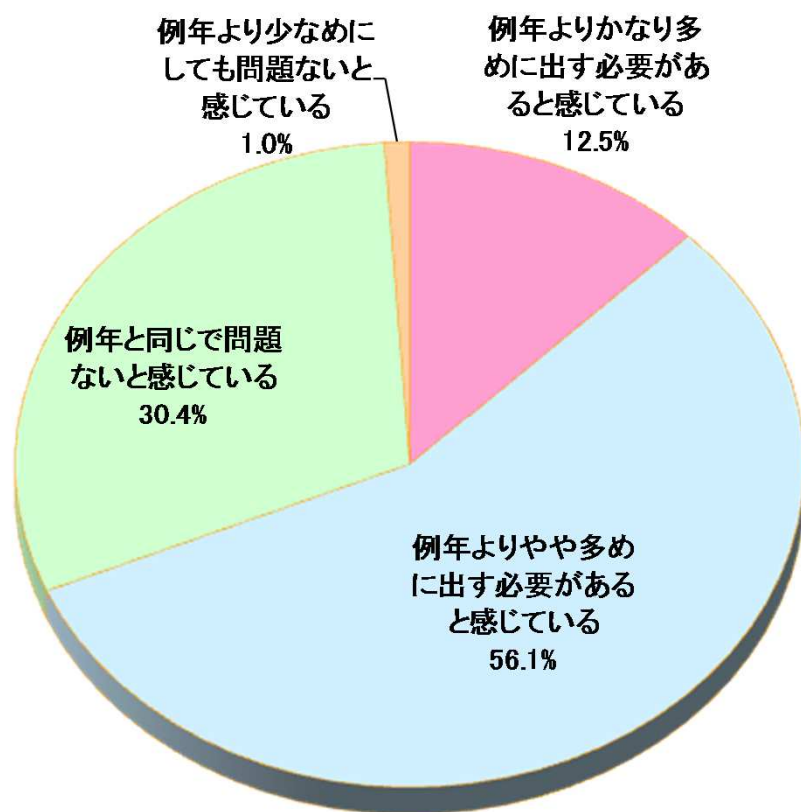


Q. 貴社では、内定出しの人数（計画人数に対する内定数）を、歩留まり率を考慮して、例年よりも増やす意向がありますか。

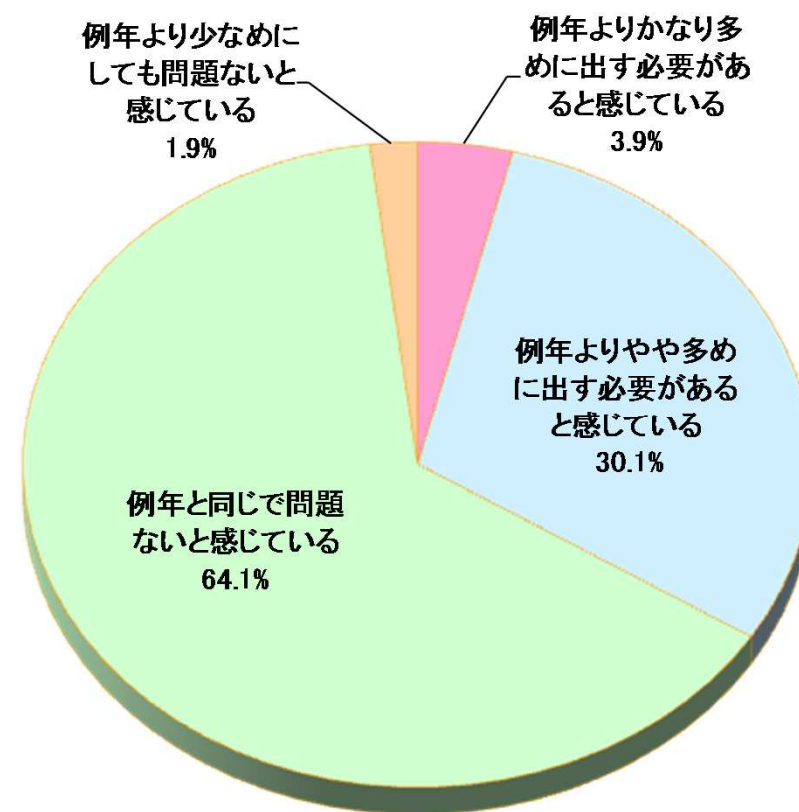
【2016年卒採用】 内定出しの人数への考え（面接開始時期別）

- 7月以前に面接を開始する企業群では、内定出しの人数を例年より多めに出す企業が約7割(68.6%)。8月以降に面接を開始する企業群では34.0%と3割台。7月以前グループの半数にとどまる。

【面接開始「7月以前」グループ】



【面接開始「8月以降」グループ】

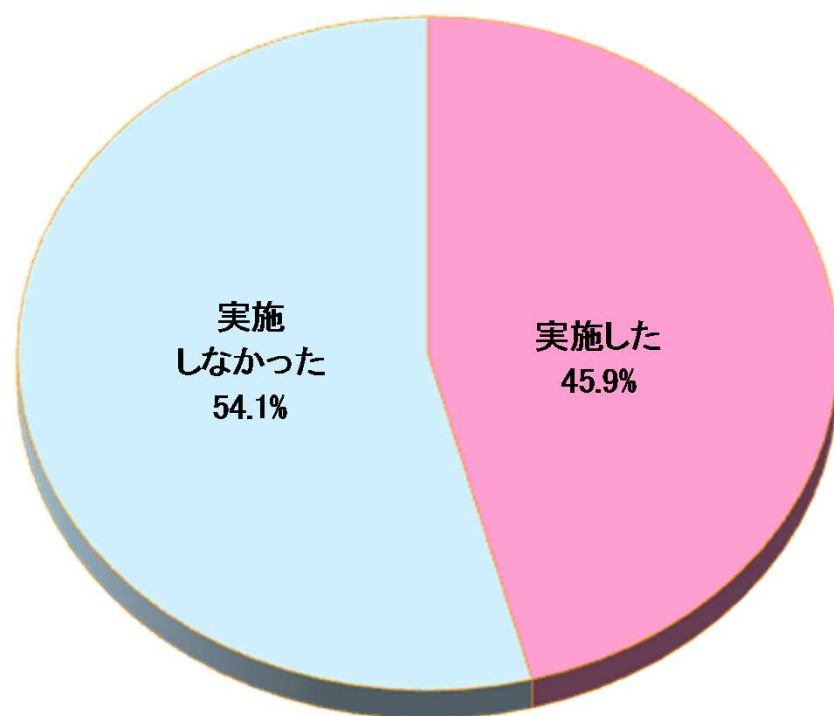


Q. 貴社では、内定出しの人数(計画人数に対する内定数)を、歩留まり率を考慮して、例年よりも増やす意向がありますか。

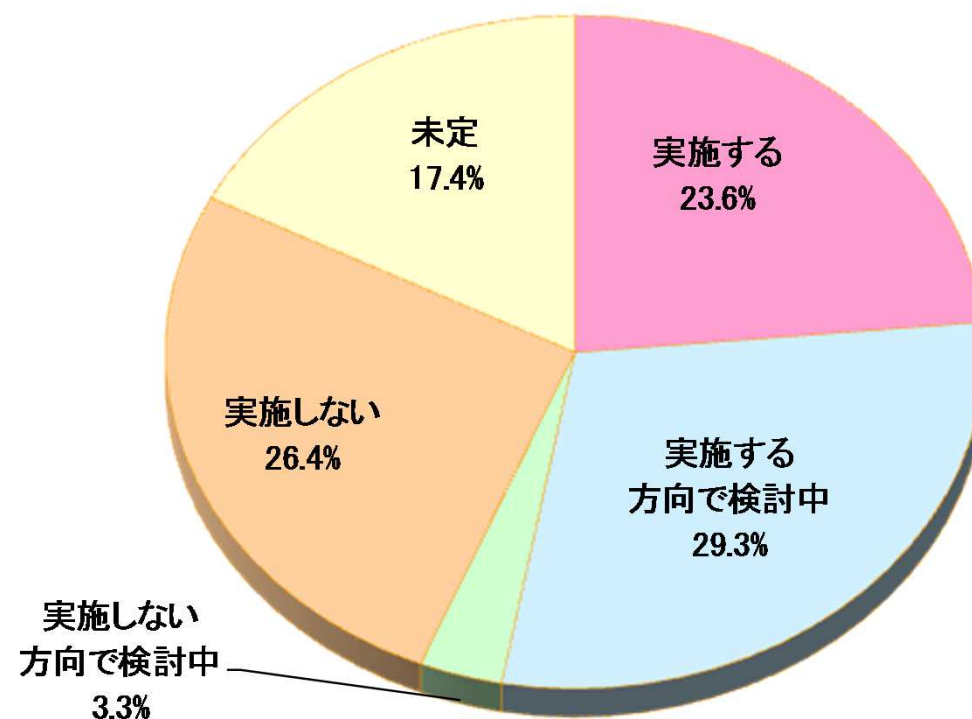
【インターンシップ】実施状況（実績と予定）

- 昨年度（2014年4月～2015年3月の期間）インターンシップを実施した企業は、45.9%。
- 今年度（2015年4月～2016年3月の期間）は、「実施する」23.6%、「実施する方向で検討中」29.3%。

【昨年度実績】



【今年度予定】

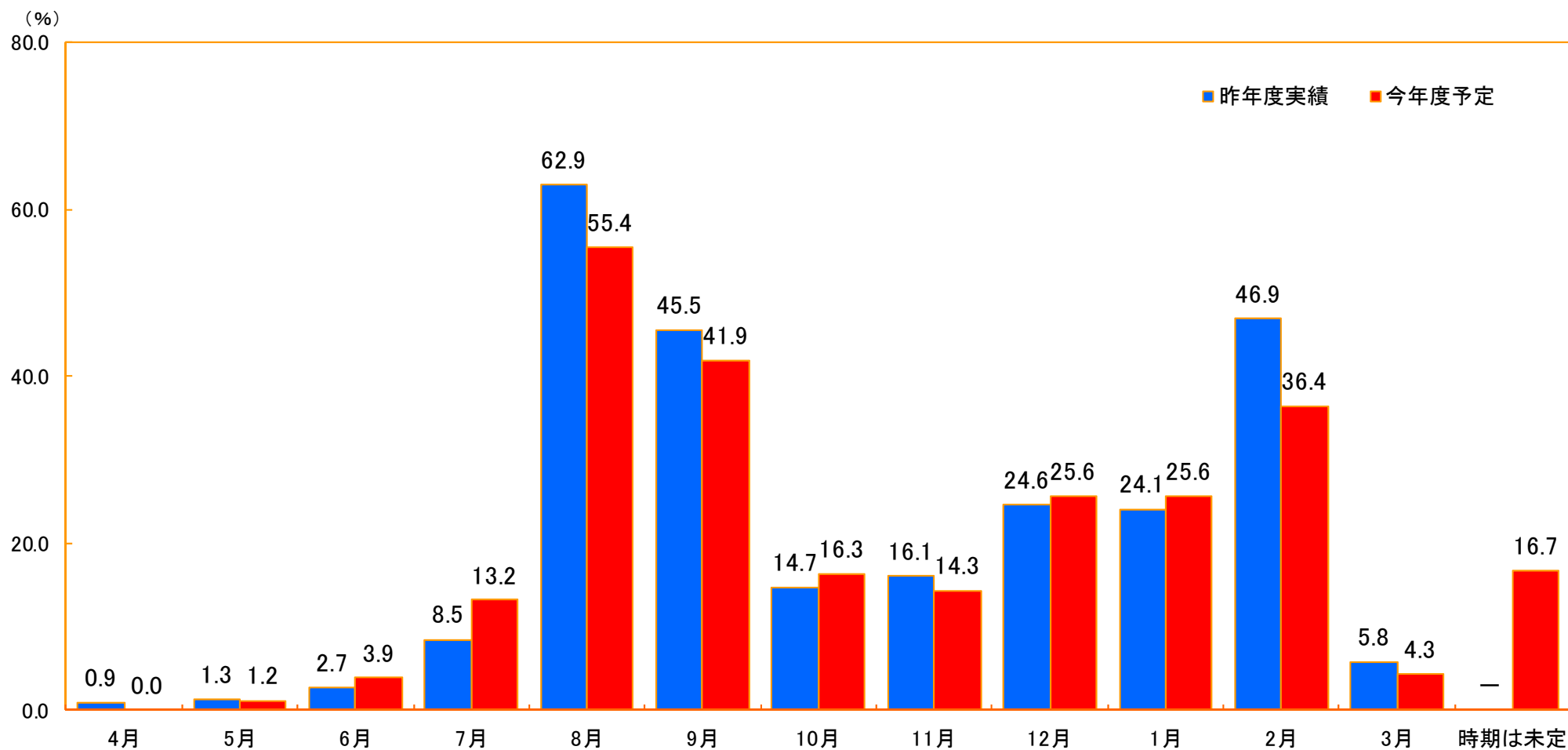


Q. 貴社では昨年度（2014年4月～2015年3月）インターンシップを実施しましたか。

Q. 貴社では今年度（2015年4月～2016年3月）インターンシップを実施しますか。

【インターンシップ】実施月（実績と予定）

- 両年度とも、「8月」の実施が最多。昨年度は「2月」が次点で、今年度は「9月」が次点。
- 今年度「時期は未定」が16.7%。

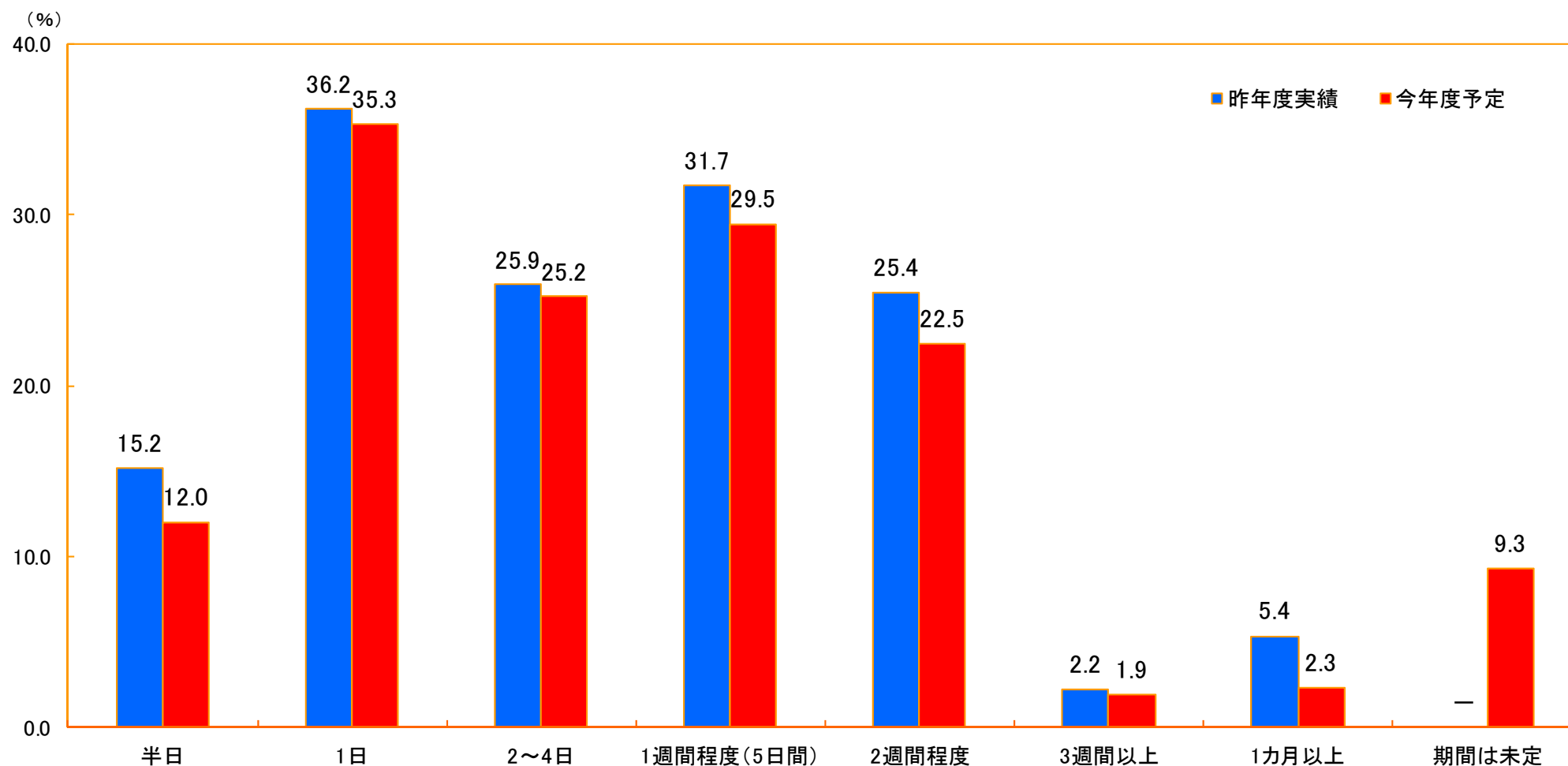


Q. インターンシップをいつ実施しましたか。実績のある月をすべてお選びください。

Q. 今年度のインターンシップをいつ実施しますか。実施する可能性のある月をすべてお選びください。

【インターンシップ】実施期間（実績と予定）

- 両年度とも、「1日」での実施が最多で、「1週間程度（5日間）」が次点。大きな変化は見られない。
- 今年度「期間は未定」が9.3%。

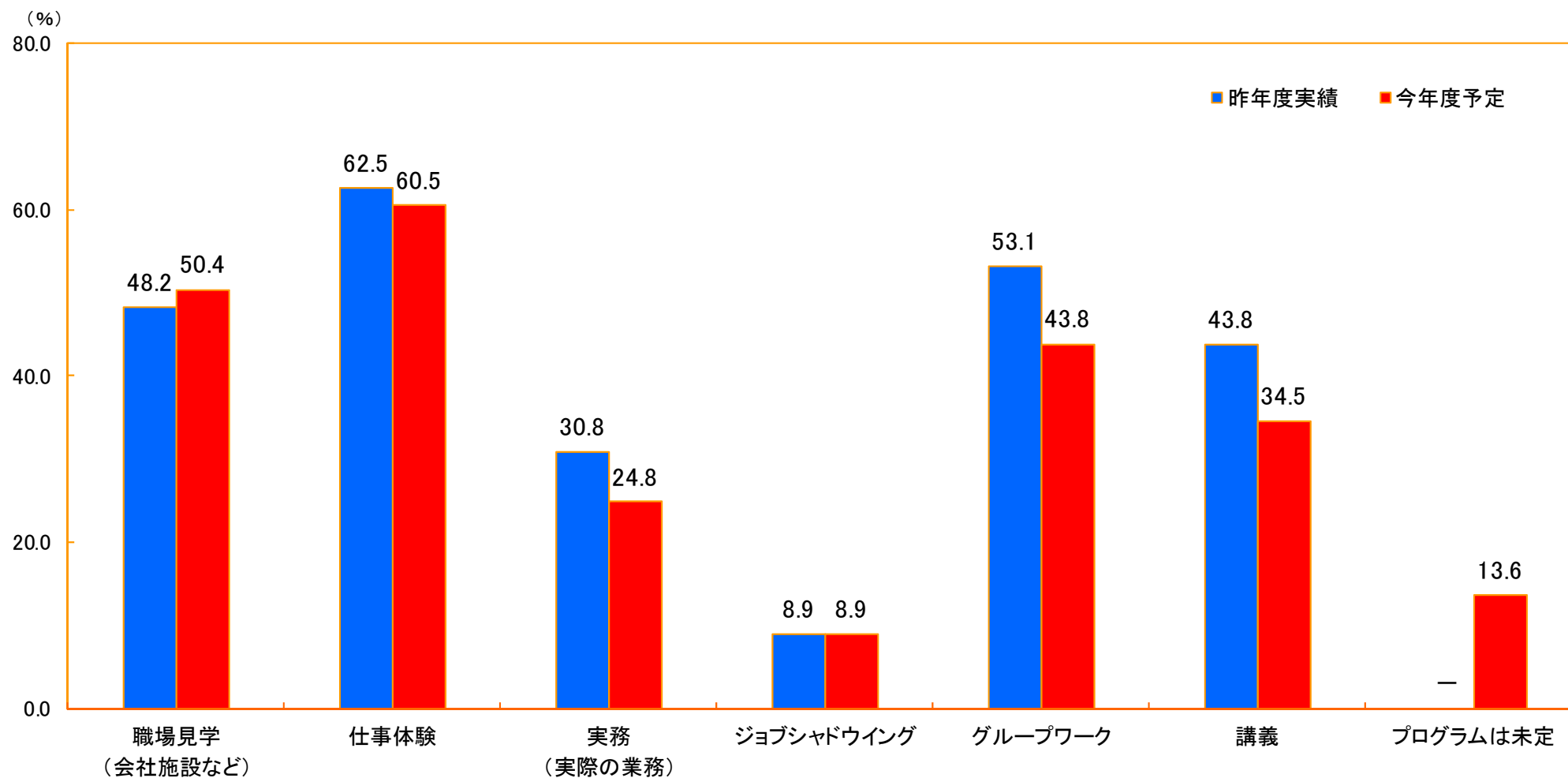


Q. どのくらいの期間で実施しましたか。複数ある場合は、あてはまるものをすべてお選びください

Q. どのくらいの期間のものを実施しますか。複数ある場合は、あてはまるものをすべてお選びください。

【インターンシップ】実施プログラム（実績と予定）

- 両年度とも、「仕事体験」が最多。昨年度は「グループワーク」が次点で、今年度は「職場見学」が次点。
- 今年度「プログラムは未定」が13.6%。

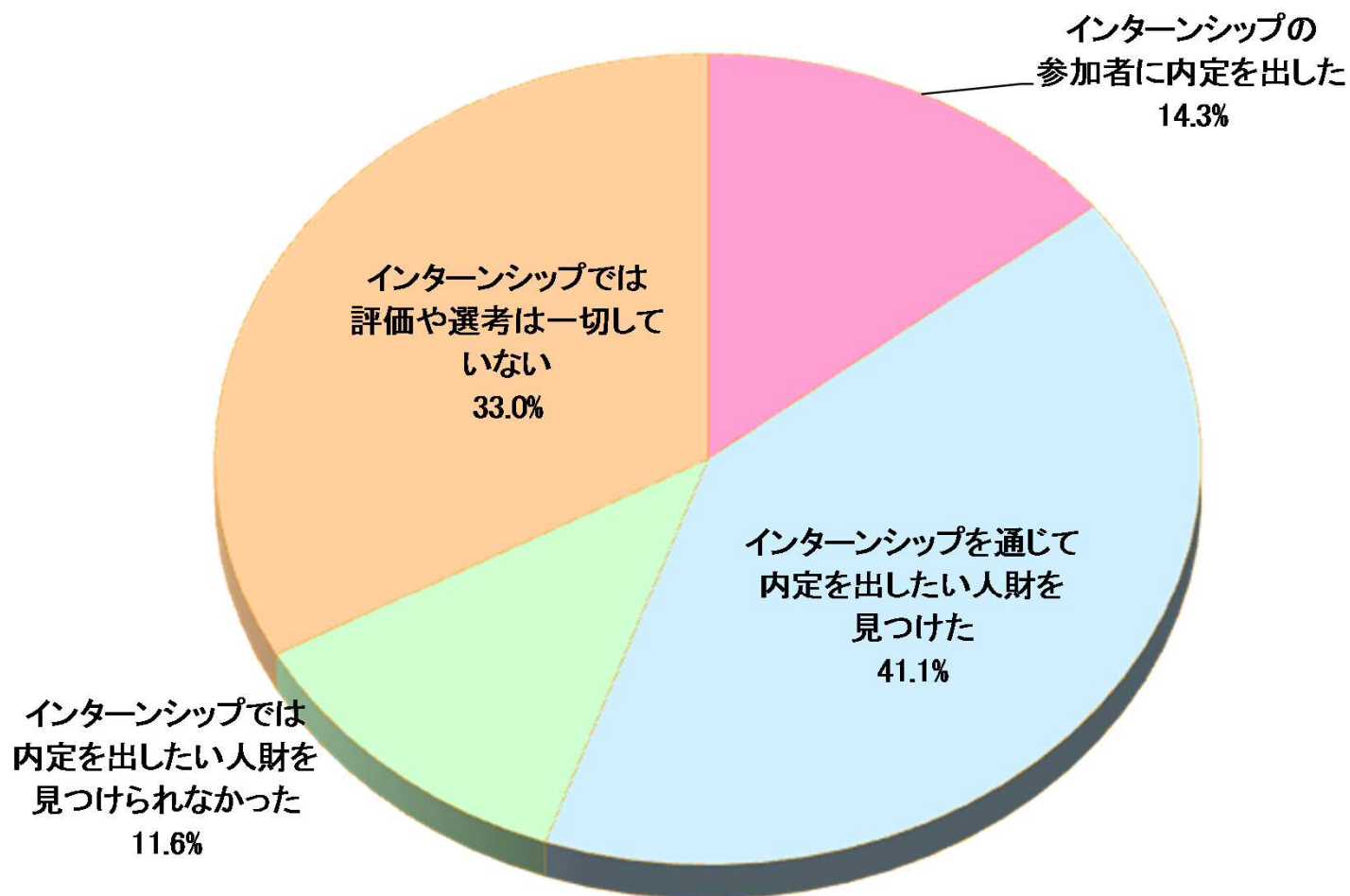


Q. どのようなプログラムを実施しましたか。複数ある場合は、あてはまるものをすべてお選びください。※「ジョブシャドウイング」とは、社員に「密着」し、職場での仕事を「観察」するものです。

Q. どのようなプログラムを実施しますか。複数ある場合は、あてはまるものをすべてお選びください。

【インターンシップ】「優秀な人財の採用」に繋がりそうか

- 昨年度のインターンシップに参加した2016年卒学生に、すでに「内定を出した」のは14.3%。
- まだ内定を出していないが、「インターンシップを通じて内定を出したい人財を見つけた」は41.1%。



Q. インターンシップの実施は「優秀な人財の採用」に繋がりそうですか。